

「伝える」「彩る」「守る」～100 年～

東京インキ株式会社は 1923 年 12 月 10 日に印刷インキ製造を目的として創立され、2023 年 12 月 10 日をもちまして創立 100 周年を迎えました。祖業であるインキ事業で培った経験や技術を活かし、プラスチック着色剤や機能剤を主とする化成品事業、さらにはプラスチック成型品やフィルムを主とする加工品事業へと展開し“世の中になくってはならないもの”を提供し続けることで色彩総合科学メーカーとして発展・成長してまいりました。永い歴史の中で自身がたまたまこのタイミングを迎えることができたことをきっかけとして「100 年」について調べてみました。

2023 年に創業 100 周年を迎える企業は、全国で 2,649 社あります。100 周年企業の産業別では、最多が製造業の 688 社（同 25.9%）、大手電機メーカーの富士電機（東京都）や自動車部品のエクセディ（大阪府）、カレーなど食品加工のエスビー食品（東京都）など有力メーカーが創業されています。他には、菓子など食品卸の高山（東京都）や住宅資材卸などのジューテック（東京都）などです。次に卸売業の 533 社（同 20.1%）、小売業の 468 社（同 17.6%）、建設業の 431 社（同 16.2%）と続きます。創業 100 周年を迎える 2,649 社を含めると国内には 42,966 社の企業あり、宗教法人などを除くと最古は 578 年創業の社寺建築を手がける金剛組（大阪府）で、現存する企業では世界最古とも言われます。

創業された 1923 年は、第一次世界大戦後の不況のなかで 9 月 1 日に関東大震災が発生し、その後も世界大恐慌、第二次世界大戦と未曾有の厳しい時代です。歴史的な大災害や戦争、不況などの苦難を乗り越えてきましたが、今後は時代の変化に伴う主力事業のハンドリングや積極投資か事業縮小か、あるいは業態変更などで市場の変化に応じた柔軟な経営判断や経営のバランスが必要になり、今後も新型コロナの影響は避けられない状況が続く中、この苦境を糧に新たな発想と経営課題を見直す弾力性を備えた企業が求められるのではないのでしょうか。

さて、今から 100 年前といえば、ちょうど大正から昭和へと時代が移り変わろうとしていた激動の時代です。イギリスで起こった産業革命以来、日進月歩で世の中が大きく変わってきました。AI、ロボット、IoT などの先進技術で社会が変わろうとする現在の状況とよく似ていませんか。100 年前の人たちが現在をどう予測していたかを調べてみると以下の様な記事がありました。まずご紹介するのは、日本人口と米の需給量を予測した「消費米二億七千百万石」という記事です。人口増加によって米の需給がひっ迫するだろうという内容ですが、現在の国内人口は減少に転じて少子高齢化という問題に直面しています。次に「国費の過半は教育費になる」との予測があります。大学などへの進学率は当時からみれば高いといえますが、現在の日本の財政課題は教育費ではなく、医療や福祉にかかる「社会保障費」が大きな割合を占めています。その他には「日本では漢字が廃止され、公用語に英語が採用さ

れる」、太陽光エネルギーを活用して発電した電力を貯めておく「貯電」ができるようになる、「無線電話の発達は地球と火星との交通（通信）を拓くかも知れません」等の予測もありましたが、次の100年後を皆さんはどう予測されるでしょうか。

現在は僅か約半世紀の間に「人生100年時代」を迎えて“より良く生きる”ため国民の健康意識、日本の食文化の変化など様々な記事を目にします。文化庁では我が国の多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を100年続く食文化「100年フード」と名付け、文化庁とともに継承していくことを目指す取組を推進しています (<https://foodculture2021.go.jp/>)。私にとって“より良く生きる”ために食文化は欠かせません。自身の生まれ育った地域のフードが伝統、近代、未来で分類されているところは非常に面白いと思いましたのでご覧になってみてください。

それでは最後になりますが、世の中が激しく変化する中、次の100年に向けて当社グループはこれからも「伝える」「彩る」「守る」ための製品の提供により、環境への調和と人々の豊かな暮らしに貢献できる企業へと成長することを目指してまいります。全社一丸となり精進してまいりますので、今後とも何卒末永くご支援、ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

立体ジオシンセティックス/ジオセル工法

テラセル・グランドセル工法

TERRACELL® Groundcell®

新技術名称：テラセル擁壁工法
NETIS登録番号：KT-090023-VE (2020年3月掲載満了)
新技術名称：テラセルマットレス工法
NETIS登録番号：CG-160016-VR

新技術名称：テラセル・グランドセルマットレス工法
NETIS登録番号：CG-160016-VR

テラセル擁壁工法

展開したテラセル（ジオセル）に現地発生土や碎石を充填し、段積みすることで擁壁を構築し、切土・盛土のり面を保護する工法です。



テラセル・グランドセルのり面保護工法

1:1.2以上の緩い勾配のり面にテラセル・グランドセルを平面的に展開し、発生土もしくは碎石を充填することにより、表層の侵食を防止するとともに、植生基盤を安定させる工法です。



テラセル・グランドセルマットレス工法

テラセル・グランドセルと碎石とのせん断抵抗により、テラセル・グランドセルマットレス上に設置する構造物の荷重を分散させ、基礎地盤の支持力不足を改善する工法です。



テラセル・グランドセル碎石舗装工法

路盤上に展開したテラセル・グランドセルに碎石を充填し、テラセル・グランドセルの拘束効果により安定した碎石舗装面を構築することで、車両の輪荷重を分散し、輻振れや不等沈下を軽減して碎石舗装の強化・安定を図る工法です。



TOKYOink

東京インキ株式会社
<https://www.tokyoink.co.jp>
〒114-0002 東京都北区王子 1-12-4 TEL.03-5902-7627

東京インキ株式会社（賛助会員）
原田道幸（令和6年3月5日）